

地域計画

策定年月日	令和7年3月28日
更新年月日	令和 年 月 日 ()
目標年度	令和16年度
市町村名 (市町村コード)	栄町 (123293)
地域名 (地域内農業集落名)	布鎌地区 (西、布太、三和、中谷、北、布鎌酒直、和田、押付、曾根、南、請方、出津)

注:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域計画の区域の状況

区域内の農用地等面積(農業上の利用が行われる農用地等の区域)	584 ha
① 農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積	574 ha
② 田の面積	513 ha
③ 畑の面積(果樹、茶等を含む)	71 ha
④ 区域内において、規模縮小などの意向のある農地面積の合計	70 ha
⑤ 区域内において、今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積の合計	68.5 ha
(参考) 区域内における70才以上の農業者の農地面積の合計	206 ha
うち後継者不在の農業者の農地面積の合計	114 ha
(備考) 遊休農地面積 5.4ha	

注1:①については、農業振興地域担当部局と調整の上、記載してください。

2:②及び③については、農業委員会の農地台帳の面積(現況地目)に基づき記載してください。

3:④については、規模縮小又は離農の意向のある農地面積を記載してください。

4:⑤については、区域内に特定することができない場合には、引き受ける意向のあるすべての農地面積を記載の上、備考欄にその旨記載してください。

5:(参考)の区域内における70才以上の農業者の農地面積等については、できる限り記載するように努めてください。

6:「区域内の農用地等面積」に遊休農地が含まれている場合には、備考欄にその面積を記載してください。

(2) 地域農業の現状及び課題

当区域の農地は、基盤整備された水田が261ha、基盤整備されていない水田が252ha、また、畑が71haとなっている。

当地域では、農業者の高齢化が進んでいるが、後継者の不在による担い手の不足から基盤整備されていない水田や畑については、遊休農地の増加が懸念されている。

一方、基盤整備済みの地域では、意欲ある担い手への農地の集積が進んできたが、ほ場が分散していることにより、作業効率が悪く、更なる規模拡大に向けた取組が難しくなっている。

また、押付地区については、今後、基盤整備事業の活用が計画されている。

【地域の基礎的データ】
 認定農業者等:13人(うち50歳代以下6人)
 農業者の年齢構成:60歳代28%、70歳代38%、80歳以上21%【60歳以上の割合87%】
 主な作物:水稻、黒大豆、いちご、トマト

(3) 地域における農業の将来の在り方(作物の生産や栽培方法については、必須記載事項)

地域の主産物である水稻を中心に黒大豆、いちごやトマト等の施設栽培を推進し、持続的な農地の利用を図りながら、地域の活性化を進めていく。

認定農業者等の大規模農家だけでなく、拡大意向のある兼業農家、地域外の担い手や新規就農者を確保・育成しつつ、集落営農も検討していく。

水稻については、農作業の効率化を図るため、農地の集積・集約化を進めつつ、必要なほ場の条件整備を実施するとともに、スマート農業等の導入を進める。そして、規模拡大を進めながら、飼料用米等の団地化や黒大豆栽培等による経営の安定化を図る。さらに特別栽培米の面積拡大を進める。

施設栽培については、栽培面積の拡大や新規参入者の確保・育成を進めるとともに、スマート農業等の導入も検討し、地域の所得向上を図る。

また、地域と担い手が一体となって農地を利用していく体制の構築を図るため、町・農家・土地改良区・JA等で連携を取り、担い手を中心とした地域の話合いを継続していくとともに、地域内外から農地を利用する者を確保する。

そして、基盤整備事業計画地区では、集落営農を検討していく。

さらに、農村の有する多面的機能を維持するために、事業の活用を含め、地域ぐるみでの取組を進めていく。

2 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標

(1)農用地の効率的かつ総合的な利用に関する方針			
農地中間管理機構への貸付けを進め、多様な担い手への農地の集積を図る。			
(2)担い手(効率的かつ安定的な経営を営む者)に対する農用地の集積に関する目標			
現状の集積率	26.6	%	将来の目標とする集積率
			60 %
(3)農用地の集団化(集約化)に関する目標			
目標地図に位置付ける者を中心に集約化を進める。			

3 農業者及び区域内の関係者が2の目標を達成するためとるべき必要な措置

(1) 農用地の集積・集団化の取組
農地中間管理機構を活用して、多様な担い手への農地の集積を進め、経営面積の拡大を図る。 また、目標地図に位置付ける者を中心に集約化を進める。
(2) 農地中間管理機構の活用方法
農地中間管理機構を活用し、段階的に集約化する。 その際に、担い手の経営意向及び所有者の貸付意向時期を考慮する。
(3) 基盤整備事業への取組
押付地区においては、基盤整備事業に向け、準備を進めている。 また、その他の地区についても畦畔除去等の条件整備を進め効率的な耕作環境の整備を進めていく。
(4) 多様な経営体の確保・育成の取組
多様な経営体に対し、町、農業委員会、JA及び農業事務所が連携を図り、農地の幹旋及び栽培技術指導や販路の開拓支援を行う。
(5) 農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の取組
植物防疫協会等が行う無人ヘリコプターやドローンを利用した防除を活用する。

以下任意記載事項（地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください）

☐	①鳥獣被害防止対策	☒	②有機・減農薬・減肥料	☒	③スマート農業	☒	④畑地化・輸出等	☐	⑤果樹等
☐	⑥燃料・資源作物等	☐	⑦保全・管理等	☐	⑧農業用施設	☐	⑨耕畜連携等	☐	⑩その他

【選択した上記の取組内容】

②減農薬減化学肥料による特別栽培を推進していく。

③農作業の省力化及び効率化を図るため、スマート農業を推進していく。

④高収益作物の栽培に取り組む農家を支援するため、水田の畑地化を推進していく。

4 地域内の農業を担う者一覧(目標地図に位置付ける者)

[illegible]

注1「属性」欄には、認定農業は「認農」、認定新規就農者は「認就」、法人化を行うことが確実であると市町村が判断する集落営農は「集」、基本構想水準到達者は「到達」、農業協同組合は「農協」、農業支援サービス事業者（農協を除く）は「サ」、上記に該当しない農用地等を継続的に利用する者は「利用者」の属性を記載してください。

2:「経営面積」「作業受託面積」欄には、地域計画の対象地域内における農業を担う者の経営面積、作業受託面積を記載してください。

3:農業を担う者に位置付ける場合は、できる限りその者から同意を得ていること。

4. 作業受託面積には、基幹3作業の実面積を記載してください。なお特定農作業受託面積は、作業受託面積に含めず、経営面積に含めてください。

5:備考欄には、農業を担う者として位置付けられた者に不測の事態に備えて、代わりに利用する者を記載するよう努めてください。

5 農業支援サービス事業者一覧(任意記載事項)

番号	事業体名 (氏名・名称)	作業内容	対象品目
1	栄町植物防疫協会	無人ヘリコプターやドローンを利用した防除	水稻

6 目標地図(別添のとおり)

7 基盤法第22条の3(地域計画に係る提案の特例)を活用する場合には、以下を記載してください。

農用地所有者等数(人)		うち計画同意者数(人・%)	
-------------	--	---------------	--

注1:「農用地所有者等」欄には、区域内の農用地等の所有者、賃借人等の使用収益権者の数を記載してください。
注2:「うち計画同意者数」欄には、同意者数を記載してください。
注3:提案する地区の対象となる範囲を目標地図に明記してください。

(留意事項)
農業を担う者を位置付ける際、これらの者の氏名が含まれた地域計画について、法令に基づく手続として、本人の同意なく、関係者の意見聴取や、地域計画の案の縦覧、地域計画の公告を行うことができますが、個人情報保有に当たっては、利用目的をできる限り特定し、本人から直接書面に記録された個人情報を取得するときは、あらかじめ、本人に対し、その利用目的を明示してください。
また、市町村の公報への掲載等とは別に、インターネットの利用により関係者以外の不特定多数に対して情報を提供する場合は、氏名を削除するなど配慮してください。
必要に応じて区域内の農用地の一覧を参考として添付してください。

4 地域内の農業を担う者一覧(目標地図に位置付ける者)

	属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度: 令和 16 年度)				
			経営作目等	経営面積	作業受託 面積	経営作目等	経営面積	作業受託 面積	目標地図上 の表示	備考
1	利用者		水稲	4.5 ha	ha	水稲	4.5 ha	ha	グレー	
2	利用者		水稲・黒大豆	0 ha	ha	水稲・黒大豆	81.4 ha	ha	水色	目標年度までに認定農業従事者となる
3	認農		水稲・黒大豆	27 ha	ha	水稲・黒大豆	0 ha	ha	無し	(株)大匠ファームとして法人化
4	認農		水稲	6 ha	ha	水稲	6 ha	ha	濃い緑	
5	利用者		水稲・黒大豆	4.6 ha	ha	—	0 ha	ha	無し	
6	利用者		水稲・いちご	6 ha	ha	水稲・いちご	6 ha	ha	薄いピンク	
7	利用者		水稲・黒大豆	6.4 ha	ha	水稲・黒大豆	6.4 ha	ha	黄土色	
8	認農		いちご・水稲	2.1 ha	ha	いちご・水稲	2.1 ha	ha	クリーム色	
9	認農		水稲・黒大豆・トマト	26.1 ha	ha	水稲・黒大豆・トマト	26.1 ha	ha	黄色	
10	到達		いちご・水稲	5.4 ha	ha	いちご・水稲	5.4 ha	ha	オレンジ	
11	認就		水稲・黒大豆	2 ha	ha	水稲・黒大豆	6 ha	ha	ワインレッド	経営面積の全部を兄弟から継承
12	利用者		水稲	4 ha	ha	水稲	0 ha	ha	無し	経営面積の全部を親に継承
13	利用者		水稲	4.4 ha	ha	水稲	4.6 ha	ha	赤網掛け	
14	認農		水稲	2.8 ha	ha	水稲	2.8 ha	ha	緑網掛け	
15	利用者		水稲	4.3 ha	ha	水稲	4.3 ha	ha	水色網掛け	
16	利用者		水稲	6 ha	ha	水稲	6.7 ha	ha	黄緑網掛け	
17	利用者		水稲	3.7 ha	ha	水稲	3.7 ha	ha	青網掛け	
18	利用者		水稲	5.9 ha	ha	水稲	5.9 ha	ha	黄色網掛け	
19	認農		水稲	20.5 ha	ha	水稲	22.5 ha	ha	紫	
20	利用者		水稲	2.6 ha	ha	水稲	2.6 ha	ha	ピンク網掛け	
21	利用者		水稲	2.8 ha	ha	水稲	2.8 ha	ha	紫網掛け	
22	利用者		水稲	3.2 ha	ha	水稲	3.2 ha	ha	薄い赤	
23	利用者		水稲	5.8 ha	ha	水稲	5.8 ha	ha	エメラルド	
24	認農		水稲	4.7 ha	ha	水稲	8.2 ha	ha	黄緑	
25	利用者		水稲	3.6 ha	ha	水稲	3.6 ha	ha	薄紫	
26	認農		水稲・黒大豆	12.5 ha	ha	水稲・黒大豆	12.5 ha	ha	青	
27	認農		水稲・黒大豆	34.4 ha	ha	水稲・黒大豆	45.3 ha	ha	赤	
28	認農		水稲・黒大豆	4.2 ha	ha	水稲・黒大豆	5.6 ha	ha	薄紫網掛け	
29	認農		水稲・黒大豆	7.7 ha	ha	水稲・黒大豆	7.7 ha	ha	薄ピンク網掛け	
30	利用者		水稲	6.3 ha	ha	水稲	6.3 ha	ha	ワインレッド網掛け	